



T-Lion Voice Home

T-Lion (The Triumphant Lion : ザ・トライアンファントライオン)
※Triumphant=「勝利を得た」「意気揚々とした」の意

第16号

- 令和5(2023)年度 事業方針・事業計画
- 令和5(2023)年度 公開講座等情報

運動部活動の地域移行 —「協働」する総合型地域スポーツクラブとSPO—

2023年4月1日に社会貢献推進機構下にある「スポーツプロモーション・オフィス(SPO)」オフィスディレクターに任命されました波多腰克晃です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度は日本のスポーツ振興を取り巻く環境の大きな変革の時期と言えるかもしれません。ご承知のとおり、運動部活動の地域移行がいよいよ本格的な動きをみせているからです。そもそも運動部活動の地域移行に関する検討は2001年のスポーツ振興法スポーツ振興基本計画に遡ることができます。1961年に制定されたスポーツ振興法は50年ぶりに改正され、2011年、新たにスポーツ基本法が施行されました。翌年には「第1期スポーツ基本計画」が策定され、現在、第3期スポーツ基本計画が実行されています。その計画を概観しますと、「地域社会とスポーツ」の結びつきに重点を置いた計画となっていることに気づかされます。また、先日中学校の教育実習巡回指導をした際、現場の教員から「昨年度までとは違って、いよいよ運動部活動の地域移行が現実的になってきました」、「今後指導者をどのように確保すればよいのか、一番の悩みです」という話を耳にしました。運動部活動を取り巻く状況についてスポーツ庁の報告では、中学校における少子化による生徒数減少の影響を受け、運動部活動の部員が確保できず、大会への出場だけでなく、日々の練習すらままならない状況、そして指導者不足を今後の課題として示しています。我々SPOは今年度令和5年度から令和9年度まで中期計画を立てました。これまで取り組んできた地域貢献活動を基盤として、より地域のニーズや課題を把握し、その解決に向けた情報収集や研究活動を通して一層の取り組みの充実を図ることを事業方針としています。また、本学独自の資格制度(CSC=Community Sport Coordinator)を2022年度に開始し、今後この制度を柱として質の高い人材育成に取り組んでまいります。

もちろん、この事業方針は大学の使命にある「教育・研究・社会貢献」に基づいています。本学がもつ人材・資材を活かして地域に貢献し【地域社会×社会貢献】、そこで得られた情報を収集・分析を繰り返す研究【地域社会×研究】によって地域に還元すると同時に、地域に貢献できる学生を学内教育として育み【地域社会×教育】、質の高い人材育成のために努めてまいります。

運動部活動の地域移行【地域社会×運動部活動】についてこれまで、総合型地域スポーツクラブへの移行として長く検討されてきました。そこではどこか「子どもたちのために」、「子どもたちファースト」が暗に含まれて議論されていたように思えてなりません。遠くない未来の社会では「あの店のあのおじさん、部活入ってよ」と中学生のつぶやきが街中で、電車の中で、SNSで見聞きする日がくるのでしょうか。学校と地域社会が連携し新しいスポーツクラブを創設する。これまで学社融合型のスポーツクラブという言葉も使われてきました。住民主体の地域に根付いたスポーツクラブの実現に本学ができることがあるとすれば、いまこそ大学全体で取り組み、貢献したいものです。その窓口として微力ながら携わることこそが我々SPOの使命なのかもしれません。



日本体育大学社会貢献推進機構
スポーツプロモーション・オフィス
オフィスディレクター

波多腰 克晃

日本体育大学地域スポーツコーディネーター(日体大CSC)資格の認定証を授与しました



令和5年4月25日、5月9日に第1号となる日本体育大学地域スポーツコーディネーター資格(運動部活動指導サポーター)の認定証授与式を行いました。この資格は、令和4年度より、地域における社会貢献活動に参加する学生の質を担保する本学独自の資格です。学校教育における課外活動(運動部活動)において、スポーツの意義を理解した上で、生徒と積極的なコミュニケーションを図り、生徒の実態に応じた指導計画を作成し、適切な指導・支援を行う知識・技能等を有した学生に付与するものです。令和4年度はスポーツ文化学部とスポーツマネジメント学部の9名に認定証を授与しました。

令和5(2023)年度 事業方針・事業計画

地域社会連携本部会議において、次のとおり令和5(2023)年度の事業方針・事業計画が策定されました。

事業方針

地域（東京都世田谷区、青葉区を中心とした横浜市）の課題及びニーズを全学で共通認識し、自治体や教育機関等との連携・協力のもと、実践力を備えた指導者の養成や、「する」「観る」「支える（育てる）」ための良好なスポーツ環境の構築、地域防災への協働・参画など、地域の課題等の解決や活性化に向けた各種取り組み・活動推進と充実を図る。

また、地域・社会貢献活動の活性化を図るため、研究で得られた知見を生かし、学内だけでなく、対外的にもその取り組みの認知度が高まるよう情報発信の方法を工夫し、活動内容の周知及び参加者の拡大を図っていく。

さらに、本学での学びを通して、実践的な資質・能力を獲得し、地域・社会において活躍できる人材の育成に努める。

将来的には、本学が有する校友会（同窓生、保護者等）組織と連携し、事業を全国的に展開するとともに、卒業生が活躍できる場の創出につなげることを目指す。

事業計画

本機構の事業方針のもと、令和5(2023)年度推進事業を以下のとおり計画する。

1. 社会貢献活動の推進と充実を図る。

- (1) スポーツプロモーション・オフィスの周知と活用の啓発
東京・世田谷・横浜・健志台両キャンパスに設置したスポーツプロモーション・オフィスについて、学生や地域への周知方法を工夫し、利用者の拡大を図るとともに、地域住民や行政機関等との連携をより強化していく。
- (2) 全学生に向けたボランティア情報等の発信
教育機関や地域自治会等の外部団体から依頼されるボランティア案件やイベント情報を全学生に向けてn-pass、掲示等で情報を発信し、一層の人材バンクの登録促進を図る。
- (3) 地域イベントへの積極的参加・協力
学友会団体等による地域での社会貢献活動を推進する。参加可能な地域のイベント等には、感染症対策を十分に図り、地域の活動支援を行う。
- (4) 地方自治体との連携強化への協力
学校法人日本体育大学が地方自治体と結ぶ「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づく連携事業への協力を行う。自治体からの団体の受入れ、教職員・学生の派遣、「自治体フォーラム」への参加等、自治体との連携をより強化し、地域の活性化を図ることで、幅広く地域社会に貢献する。

2. 本学での専門的な学びを通して、実践的な資質・能力を身に付け、地域・社会において活躍できる人材の育成を図る。

- (1) CSC資格制度の確立
地域社会において即戦力となりうる人材育成のため、独自の包括的資格制度として創設した日体大CSC（Community Sport Coordinator）について、カリキュラム等の環境が整った2022年度からスタートしたスポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部において、2023年度から児童スポーツ教育学部において、「運動部活動指導サポーター」等の資格付与をスタートする。
- (2) 教育課程と繋がる地域・学校・企業等でのボランティア活動の支援
教職センター及び学生支援センターと情報を共有し、各種実習等の受入れ先確保について相互に協力する。

3. 研究機関と連携して地域の課題解決に繋がる実効性のあるプログラム開発に努める。

- (1) 研究機関等と連携した取り組み促進と情報発信
総合スポーツ科学研究センター及び体育研究所と連携して、地域の課題やニーズの調査、関連する研究を継続的に推進するとともにその成果を発信し、広く地域社会に還元できるプログラムに繋げていく。また、地域住民を対象とした体力測定を引き続き実施し、ヘルスプロモーション等につながる取り組みとしてより創意工夫を図る。

4. 人的・物的資源を活かした公開講座等を実施する。

- (1) 地域の課題解決に繋がる公開講座の実施
地域の体育・スポーツ課題の解決につながる実効性の高い取り組みや地域が期待するテーマに関する講座等を積極的に開催する。開催にあたっては、「公開講座等の実施に関するガイドライン」に基づき、感染症対策をとり、形式も状況に応じて柔軟な対応ができる体制を整える。
- (2) スポーツフェスタ等のイベントの開催
小学生向け体験型イベント「日体大スポーツフェスタ」を学友会等と協力して開催する。運営は学生が主体となって取り組み、実践経験を積む機会をつくる。

5. SDGs、地域環境整備、地域の防災力向上への取り組みを推進する。

- (1) 建学の精神を踏まえたSDGsへの取り組み
参加者の主体性を重視した体験型の講座（ワークショップ）等を推進する。
学校教育等で取り組みが進められているSDGsに関する協力や支援を積極的に行う。
- (2) 地域における連携協定事業及び委託事業の継続
地域との連携協定事業及び委託事業を継続し、地域のスポーツ振興・推進の取り組みに引き続き参画していく。
- (3) 地域の環境整備への協力
学友会やホームルーム、ゼミ活動を通じて積極的な情報発信等を行い、地域の環境整備への協力が全学的な取り組みとなるよう参加者の拡充を図る。
- (4) 地域社会と連携した防災訓練等の実施
災害協力協定により行っている事業（「防災訓練」「せたがや災害ボランティアマッチングコーディネーター養成講座」「世田谷区福祉避難所（母子）運営体制強化」）を継続し、地域の防災力向上に寄与する。また、横浜市と連携し、将来、地域防災の担い手として活躍できる人材育成に寄与する。

令和5(2023)年度 公開講座等情報

日時	講座名・講師	イメージ	会場	対象	定員	受講料	概要
5/6(土) 9/2(土) 10:00~11:30	スポーツ救急 VRを使用した救命蘇生講習会 保健医療学部 准教授 鈴木 健介		横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生	各回 50名	各回 1,000円 小学生 500円	本学が作成したVR動画で救急現場の様子をリアルに体験。胸骨圧迫とAEDの練習。最新情報の提供。
5/14(日) 5/20(土) 5/27(土) 9/30(土) 10/28(土) 11/12(日) 10:00~11:30	速く走るコツを身に付けよう！ 小学生の短距離走教室 児童スポーツ教育学部 助教 鈴木 康介		東京・世田谷 キャンパス	小学 3~6年生	各回 20名	各回 500円	速く走るためのコツを身に付けます。走ることが苦手な児童にごと、参加してほしい講座です。
5/27(土) 6/24(土) 7/29(土) 9/30(土) 10/28(土) 11/25(土) 12/16(土)10:30~12:00	らくらくエアロビクス 非常勤講師 大津 桂子 佐藤 果純 山口 圭子		東京・世田谷 キャンパス	一般	各回 35名	各回 1,000円	エアロビクスで楽しく動きながら、身体のコリやゆがみを整え、きれいな姿勢を身につけます。
有酸素:6/10(土)11/18(土) 筋トレ:6/25(日) 12/3(日) 14:00~16:00	トレーニングのすゝめ (有酸素運動、筋トレの基礎) 体育学部 准教授 菊池 直樹		東京・世田谷 キャンパス	一般 高校生	有酸素 各20名 筋トレ 各30名	各回 1,000円	基本的な有酸素運動および筋力トレーニングを行う。
横浜・健志台 6/24(土) 東京・世田谷 12/10(日) 9:00~12:30	救急救命士・防災士から学ぶ 災害への備えと対応 救急救命専門指導教員 7名		東京・世田谷 横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生	各回 50名	各回 1,000円 小学生 500円	救急救命士かつ防災士として災害現場でも活躍する講師が、知識と経験を踏まえて、備えと対応について講義。
6/25(日) 10:00~12:00	膝痛さようなら体操教室 スポーツキュアセンター院長 保健医療学部 教授 伊藤 謙		横浜・健志台 キャンパス	一般	20名	1,000円	膝痛の改善を目的とした、ご自宅でもできるストレッチやトレーニングなどの体操を行います。
7/1(土) 14:00~15:30	ケガの予防トレーニング と簡単テーピング講座 保健医療学部 准教授 上倉 将太		東京・世田谷 キャンパス	一般 学生トレーナー 部活動指導者	25名	1,000円	体幹等のトレーニングと、テーピングでスポーツ活動をサポートする方法を伝授します。
7/2(日) 後学期 初級:13:00~14:30 中級:15:00~16:30	オリンピック選手が教えるフェンシング教室 スポーツマネジメント学部 教授 依田 充代 フェンシング部監督ソウル五輪代表 桐谷 乃宇奈 ほか		東京・世田谷 キャンパス	小学生 中学生 高校生	各コース 20名	初級各回 1,000円 中級各回 2,000円	レベルに合わせた2つのコース 初級:初めて体験する初心者向け。 中級:実践練習。経験者向け。
7/3(月) から 週2日 全8回 事前・事後測定あり	筋トレ塾 体育学部 准教授 菊池 直樹		東京・世田谷 キャンパス	一般	40名	無料	週2回全8回のフリーウェイトを用いた筋力トレーニングおよび有酸素運動の指導を行います。
7/8(土) 14:00~15:30	高校生のためのケガの予防 トレーニングと簡単テーピング講座 保健医療学部 准教授 上倉 将太		東京・世田谷 キャンパス	高校生 小学生中学生 保護者 学生トレーナー 部活動指導者	25名	1,000円 小学生 500円	主に高校生を対象に、体幹等のトレーニングと、テーピングでスポーツ活動をサポートする方法を伝授します。
7/9(日) 10:30~12:00	海や川での事故防止講習会 海上保安庁第三管区海上保安本部		横浜・健志台 キャンパス	小学生 およびその 保護者	50組 100名	無料	痛ましい事故を未然に防ぎ、安全に楽しく水辺で遊べるよう、海上保安官から、座学と実技で学びます。
7/15(土) 7/29(土) 後学期 10:00~11:30	トランポリン教室 体育学部 准教授 山崎 博和		東京・世田谷 キャンパス	小学生 中学生 高校生	各回 30名	各回 1,000円 小学生 500円	オリンピック公式器具で、普段味わうことのできない空中感覚や動作を体験しよう。
東京・世田谷 7/30(日) 12/23(土) 横浜・健志台 12/9(土)	日体大スポーツフェスタ2023夏 日体大スポーツフェスタ2023冬		東京・世田谷 横浜・健志台 キャンパス	小学 1~6年生	夏 120名 冬各回 240名	無料	小学生向けのスポーツ体験教室です。様々なスポーツを学生が楽しく安全に教え、技を披露します。
7/30(日) 10:30~12:00	高校生のための栄養学 身近な食を考えよう 体育学部 助教 安達 瑞保		東京・世田谷 キャンパス	高校生 保護者	50名	1,000円	高校生を対象に、身近な「食」について栄養学の観点から日常に活かせる知識・習慣について考えます。
8/5(土) 8/8(火) 8/10(木) 9:00~12:00, 13:00~16:00	スポーツデータを用いた夏休みの自由研究 ~小・中・高校生を対象としたスポーツデータ分析講座~ 体育学部 教授 大石 健二 図書館長 木村 直人		東京・世田谷 キャンパス	小学生 中学生 高校生	各回 20名	各回 1,000円 小学生 500円	午前の部は、軽運動で自分の心拍数等を測定し分析。午後の部で科学的に考察して、文章と図を印刷し、製本。
8/20(日) 10:00~12:00	今こそチャンス！ゴールデンエイジの身体づくり ~運動能力を向上させるコンディショニング~ スポーツキュアセンター院長 保健医療学部 教授 伊藤 謙		横浜・健志台 キャンパス	小学 4~6年生	20名	500円	子どもの運動能力は9~12歳の間に発達。様々な運動で神経系の能力を向上させ、ケガをしない身体を目指す。
9/2(土) 13:00~14:30	災害時の対応講習会 災害図上訓練 DIG 保健医療学部 准教授 鈴木 健介		横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生	50名	1,000円 小学生 500円	青葉区における街の構造、避難場所、危険箇所等を地図に書き込むワークショップ。街の特性を理解し備える。
9/2(土) 16:00~17:30	災害時の対応講習会 避難所運営 HUG 保健医療学部 准教授 鈴木 健介		横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生	50名	1,000円 小学生 500円	避難所で起こる様々な出来事をカードゲームで模擬体験。話し合って部屋割りを考え、避難所の運営を学びます。
9/23(土) 10:00~12:00	いきなりデスからの回避法を教えます。 保健医療学部 教授 小川 理郎		横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生中学生 高校生 消防職員	100名	1,000円 小学生 500円	不慮の事故や突然死の中には、避けられた死亡が多数存在します。命の大切さや対処法、生活の送り方を提言。
東京・世田谷 11/3(金)~11/5(日) 横浜・健志台 11/11(土) 11/12(日)	体力測定		東京・世田谷 横浜・健志台 キャンパス	一般 (40歳以上)	500名 予定	無料	体力や身体の変化を把握し、今後の日常生活や体力作りに活かしましょう。
9/30(土) 10/21(土) 10/28(土) 10:00~12:00	たのしくて安全なキャンプ講座 スポーツマネジメント学部 准教授 高荷 英久		横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生	各回 30名	各回 1,000円 小学生 500円	①キャンプ道具の選び方 ②テント等の立て方、ロープワーク ③新割り、火つけ、焚き火方法等
11/19(日) 10:00~12:00	歩いて健康！元気に楽しく！ 日体大ウォーキング スポーツキュアセンター院長 保健医療学部 教授 伊藤 謙		横浜・健志台 キャンパス	一般	20名	1,000円	キャンパスの広大な敷地を歩きながらスポーツキュアセンターのスタッフが正しいフォームを指導します。
1/28(日) 10:00~12:00	腰痛さようなら体操教室 スポーツキュアセンター院長 保健医療学部 教授 伊藤 謙		横浜・健志台 キャンパス	一般	20名	1,000円	腰痛の改善を目的とした、ご自宅でもできるストレッチやトレーニングなどの体操を行います。
第1回 6/16(金) 第2回 7/21(金) 後学期 17:00~18:00	学術セミナー 主催: 総合スポーツ科学研究センター、体育研究所ほか		東京・世田谷 キャンパス	一般 本学教職員 本学学生	なし	無料	第1回:スポーツ障害の発症メカニズムと予防対策 体育研究所 助教 田村 暁大 第2回: 体育授業における情意領域の学習成果を促進するための教師の行動と成功要因 スポーツ文化学部 助教 寺岡 英晋 後学期 未定

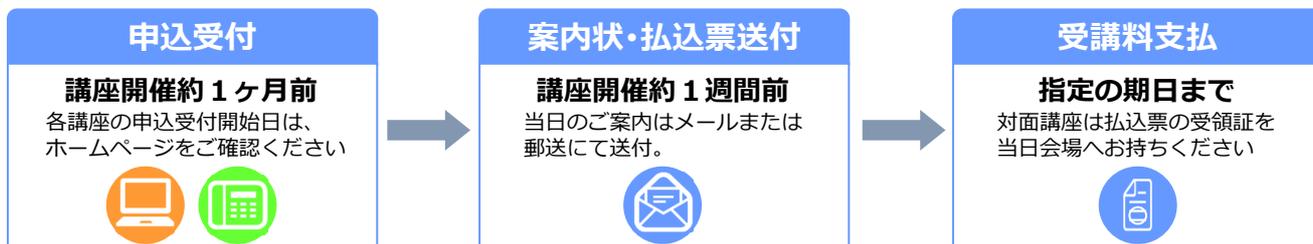
防災訓練 in 日本体育大学（横浜・健志台キャンパス）

本学では地域・行政が連携して地域防災力を向上し、減災を目指す実践的な訓練を毎年実施しています。昨年度は近隣住民の方にご参加いただきましたが、今年度は広く横浜市青葉区民を対象に半日のプログラムで開催します。災害時に備え、ぜひ積極的にご参加ください。
※詳細は9月に日本体育大学ホームページ等でご案内します



お申し込み方法について

お申し込みの流れ



お申し込み方法

※講座により、ホームページからの受付のみとなります。



ホームページ

本学ホームページ> 大学案内> 公開講座から講座を選択し、必要事項を入力の上、お申し込みください。

日本体育大学公開講座ページ

https://www.nittai.ac.jp/about/approach/kokai_koza.html



TEL

①受講希望講座名 ②氏名、フリガナ ③年齢 ④住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレスをお申し出ください。

電話番号

03-5706-0911

受講の注意事項

※次の事項をあらかじめご了承のうえ、お申し込みください。

事前のお申し込みが必要です

特別なアナウンスのないものを除き、事前のお申し込みが必要です。お申し込みをせずに直接お越しになられても、受講はできません。申込受付開始は講座開催約1ヶ月前です。

申し込みは先着順です

予約受付期間内であっても定員になり次第、締め切ります。定員数を超えた場合、メールまたは電話にてご連絡いたします。一部抽選講座あり。

事前のお支払いが必要です

講座開催約1週間前に案内状・払込票を送付いたします。会場で現金の取り扱いはいたしませんので、ご参加前に必ずお支払いをお願いします。振込手数料はかかりません。

なお、入金後の返金には対応できませんので、参加のめどが立ってから振込をしてください。入金がない場合、受講はできません。

キャンセル・欠席・返金

お申し込み後のキャンセルはご遠慮ください。健康上の理由や、やむを得ない事情等がある場合を除きます。

また、当日やむを得ない事情により、欠席となる場合はメールにてご連絡ください。

ただし、入金後の受講料の返金はいずれの場合においても対応できません。ご了承願います。

休講

事故、災害、講師の急病等により、やむを得ず休講とすることがあります。この場合、参加予定者にメールまたは電話にてご連絡いたします。納入いただいた受講料は返金いたします。ただし、交通費・宿泊費等の補償はできません。

傷害保険の加入

運動教室については、本学にて傷害保険に加入いたします。但し、本学として責任を負いかねる場合もありますので、体の不調や異常を感じた時は参加を見合わせる等、各自の責任において健康管理に十分ご注意ください。

内容変更

実施時間は状況により多少延長・短縮されることがあります。また、諸事情により、やむを得ず日程・内容・講師・実施場所等が変更になる場合があります。

所持品の管理

学内での所持品の紛失盗難等につき、本学は一切責任を負いかねます。各自の責任において管理をお願いいたします。

撮影・録音・複写転載・二次活用

特別なアナウンスがない限り、参加者による録音・録画・写真撮影等はお断りします。また配布資料の内容については一切複製転載・二次活用を禁止します。

本学スタッフによる広報目的での撮影が入ることがあります。

個人情報の保護

お申し込み等で取得した個人情報については、公開講座および本学研究活動以外で使用いたしません。研究活動で使用する際は、個人が特定されない範囲での利用となります。

受講資格の取消

講師や他の受講生に迷惑となる行為、講座の進行を妨げるような行為、本学が講座の運営上不適当と判断する行為があった場合、受講資格を取り消すことがあります。

「T-Lion Voice Home」第16号（令和5年7月発行）

発行：日本体育大学社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス

【東京・世田谷キャンパス】〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

TEL：03-5706-0911(直通) FAX：03-5706-0981

【横浜・健志台キャンパス】〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1

TEL：045-507-1263(直通) FAX：045-507-4556

両キャンパス共通メールアドレス：shakaikouken@nittai.ac.jp



社会貢献推進事業 公開講座ページ